

令和6年度【学校運営・運用】年度末評価

評価:5段階「5:よい」「4:ややよい」「3:普通」「2:やや不十分」「1:不十分」

内 容			評価
Ⅰ 学校経営	1	学校のビジョン及び単年度目標を設定しており、かつ、学校独自のカラーを出している。また、学校の年度目標は、教職員に周知され、全体的に取り組んでいる。	3.7
	2	学校評価を組織的に実施し、評価結果を教職員に周知するとともに、改善を策定している	3
	3	各業務担当の目標(単年度)に対する評価を年度内に実施し、その結果を全体で共有している。また、次年度の課題を明確にしている。	3.8
	4	学生による学校運営評価を実施しており、結果を公表し次年度の課題としている。	2.9
	5	合同会議が、学校運営に関する議論の場として機能している。	3.8
	6	教務会議が、教授活動など学生育成へ反映されるよう効果的に行われている	3.3
Ⅱ 教育課程・教育活動	7	教育目標に、卒業時において持つべき資質を明示しているとともに、卒業時の到達状況を分析している。	3.9
	8	教育課程は、教育理念・教育目標と一貫性がある内容になっている。	4
	9	教育課程の評価を定期的に行い、社会の要請・変化に合ったものに修正している。	3.5
	10	シラバス(授業計画)は、科目間で調整され学生に活かされている。	3.5
	11	講義・演習の一貫性と科目間の関連性を調整している。	3.3
	12	効果的な授業運営を図るため、適切な時間割を調整している。	3.3
	13	授業内容や指導方法が学生のレベルに合うよう工夫されている。	3.4
	14	授業を効果的に行うための学習環境施設・設備・教員が整えられている。	2.9
	15	授業評価を実施し、その結果を分析し、教育内容や方法に反映させている。評価は「修了試験結果」「学生による授業評価」に基づく目標達成度合いを考察する	3
	16	修了認定は適切な時期に行い、公平性と妥当性が保たれている。(講義・演習、臨地実習)	3.6
	17	未認定科目の原因を教員と学生の双方で分析し、対策を講じている。	3.6
	18	実習目標に沿った学習環境・指導体制が整っている(臨地実習施設との協働体制を含む)	3.1
	19	実習における医療安全の確保や倫理的な行動に関する教育を行っている。	4
	20	授業における学生の倫理、関係者の倫理性が保障されている。意思の尊重、プライバシーの保護等)	3.9
	21	学生指導において、学生に対して人権への配慮がされている。	4
Ⅲ 入学卒業対策	22	より多くの応募者を確保することに努めている。	3.8
	23	国試対策は個々の学生に適した指導・援助を教職員一丸となって取り組んでいる。	3
	24	中途退学者を少なくする工夫・努力をしているか。	3.8
	25	学生の警察病院への就職率を高めるよう努めている。	4
Ⅳ 学生生活の支援	26	学生生活、進学、就職に関して学生の相談に応じている。	4.5
	27	学生の心身面で健康管理体制が整っている。	4.1
	28	前年度の卒業生の就職先での評価を把握し問題点を明確にし改善策を講じている。	3.8
	29	学生が主体的に運営する活動(自治会、むつみ、有志)を支援している。	3.5
Ⅴ 管理財政	30	予算計画、年間事業計画を策定し、適正な予算の執行・進行管理を行っている。	4
	31	学生、非常勤講師や教職員の個人情報の保護について、考慮しているか。	3.4
	32	災害など非常時の危機管理体制が整っている。	3.3
Ⅵ 施設設備	34	校舎は、耐震性に優れ、バリアフリーなどに配慮された構造になっている。	3.9
	35	教育目標達成に必要な施設、設備及び新しい教材が整っており、活用されている。	3.1
	36	学生のために、休息、親睦及び交流等を行うためのスペースが設けられている。	4.3
Ⅶ 教職員の育成	37	学校の抱えている課題を踏まえた職場内研修・学習会を行っている。	3
	38	教員が計画的に外部研修・セミナーに参加している。	2.6
	39	研修や出張で学会等に参加した結果を他の教員と共有されている。	2.5
	40	教員が計画的に研究活動や教授成果の外部公表(専門誌への投稿等)を行っている。	2.3
	41	教員の授業を他の教員が参観し検討できる状況にある。	3.4
	42	専門領域を高めるような支援体制が整っている。	2.9
Ⅷ 広報	43	ホームページは、効果的に機能している。	3.4
	44	学校運営及び評価の結果を学校関係者以外に、何らかの方法で公表している。	2.9
Ⅸ 地域連携	45	地域社会への貢献の一環として、学校施設を地元に開放している。	2.9
	46	学校への理解促進・地域貢献のために、地域を含む外部の人々と交流する機会を設けている。	3

■カテゴリー別

	学校経営	教育課程 教育活動	入学卒業 対策	学生生活 支援	管理財政	施設設備	教職員 育成	広報	地域連携
2024 (R6) 年度	3.4	3.5	3.7	4	3.6	3.8	2.8	3.2	3

Ⅰ 学校経営:学校のビジョン及び年度目標を設定し、教職員全体で取り組んだ。学校評価を次年度に活かす取り組みについては課題を残している。
Ⅱ 教育課程・教育活動:「ともに学びともに成長」の教育理念のもと、臨床実践能力と豊かな人間性を兼ね備えた看護師を育成するための教育を時間割を調整し推進した。また授業評価結果を教育内容や方法に反映した。実習では指導者との連携を図り、学生個々に応じた実習指導を行った。
Ⅲ 入学・卒業対策:より多くの応募者を確保することに努め成果をあげた。また国家試験は学生個々に適した指導を教職員一丸となり取り組んだが、過去10年来初めて全国合格率を下回った。
Ⅳ 学生生活への支援:学生生活、進学、就職に関する学生からの相談に対し、必要により保護者を交えて親身に対応したほか、スクールカウンセラーの相談日を定期的に設けるなど学生支援に努めた。
Ⅴ 管理財政:計画に基づき効果的な予算執行を適正に推進した。
Ⅵ 施設設備:校舎は学生が使いやすいスペースや構造になっている。建築設備の老朽化に伴う不具合に対して対応する等校舎の適正な維持管理に努め、学習に必要な教材等も整備し学習環境の向上を図った。
Ⅶ 教職員の育成:講義・演習案を共有・検討したほか、他の教員の授業参観を行った。学術集会やセミナーをオンライン受講したが、教員がスキルアップするための取り組みについて課題を残した。
Ⅷ 広報:ホームページで学校生活の最新情報を写真等で掲載した。また高校訪問を行い、受験者の募集活動に努めた。
Ⅸ 地域連携:学校祭である「むつみ祭」では一般公開をし、多くの近隣住民が訪れ学生と交流した。今回の結果を踏まえ「ヒューマンケアリング」を核に学生に関わる方々との共有・連携を強化し、学校教育をより充実させていく。